

2 信頼され魅力あふれるものづくり

重点推進項目

- ◎重点推進品目の生産拡大
- ◎園芸団地整備及び集約化による産地の拡大
- ◎スマート農林水産業の取組
- ◎農林水産物の6次産業化・ブランド化
- ◎地産地消の取組強化
- ◎地域材*(市産材*)の利活用
- ◎水産資源の維持増大

重点推進品目

本市の特性を生かした経営が行われており、将来にわたり、攻めの農林水産業を实践するためのブランド力、産地間競争力の向上が期待できる品目

《農 業》 おおば、にら、みつば、いちご、水耕せり、パセリ、ピーマン
乳用牛(生乳)、肉用牛(和牛子牛)

《林 業》 木材、乾椎茸

《水産業》 関あじ・関さば、イサキ

◎重点的に実施する施策

- ◆新規就業者の経営定着化
- ◆産地の拡充と市場競争力の強化
- ◆農地・園芸施設の集約化
- ◆農林水産物の6次産業化・ブランド化
- ◆ロボット、AI*、IoT*等の先進技術の導入
- ◆低コストで効率的な森林の整備
- ◆林道等の生産基盤の整備
- ◆魚礁漁場*・増殖場*の整備



目標指標(重点推進品目)

品目		R2年度(現状値)		R8年度(目標値)	
		生産量	産出額(千円)	生産量	産出額(千円)
農 業	おおば	571t	1,453,909	610t	1,830,000
	にら	2,203t	1,185,962	2,300t	1,230,500
	みつば	589t	318,310	610t	445,300
	いちご	194t	222,031	220t	264,000
	水耕せり	142t	110,719	150t	158,250
	パセリ	36t	30,468	45t	56,250
	ピーマン	183t	78,409	320t	115,200
	乳用牛(生乳)	8,892t	1,053,490	10,500t	1,186,500
	肉用牛(和牛子牛)	123頭	82,940	190頭	125,000
林 業	木材	26,000m ³	300,000	28,000m ³	352,800
	乾椎茸	38t	146,946	48t	180,000
水 産 業	関あじ・関さば・イサキ	180t	220,550	200t	300,000

目標指標

	R2年度(現状値)	R8年度(目標値)	重点推進項目
スマート農林水産業取組件数 ※R2年度からの累積	11件	55件	○
年間間伐面積	90ha	130ha	
増殖場造成面積	81,030m ²	129,000m ²	○
種苗放流数(海面) ※H28年度からの累積	623千尾	1,200千尾	○
種苗放流数(内水面) ※H28年度からの累積	11,334kg	23,000kg	○
安全・安心や環境に配慮した生産に取り組む 農業者数(農産物等認証制度*に取り組む農業者数)	39経営体	50経営体	
直販所販売金額	30.3億円	33.5億円	○
6次産業化商品数(補助事業支援商品数)	67品	95品	○
大分市ブランド(OitaBirth)*認証数	41品	70品	○
大分市ブランド(OitaBirth)販売額 ※1認証加工品当たりの平均	2,693千円	3,300千円	○
地域材利用量(主要製品市場における地域材製品の 市内向け出荷量)	6,750m ³	7,500m ³	○

(1) ニーズに即した生産・供給体制の整備

基本的な方向

- ◆重点推進品目を中心とした生産拡大や省力化・低コスト化による産地間競争力の強化
- ◆安全・安心な農林水産物供給体制の強化
- ◆災害に強い生産基盤や施設整備の推進
- ◆生産技術の向上や先進技術導入等による高品質・安定生産の推進
- ◆適正な造林・育林*の促進及び木材の生産拡大の推進
- ◆水産資源の保全と安定した漁業生産の推進

① 農産物の生産振興

農 業

(ア) 米・麦・大豆・特用作物*

- ◇規模拡大や省力化等を図るため、IoT等の先端技術、大型機械・設備の導入を支援します。
- ◇生産性の高い水田農業を確立するため、米・麦・大豆等の輪作や飼料用米や加工用米の導入を推進します。
- ◇生産性の向上を図るため、ほ場の排水対策や土づくり等を推進します。
- ◇消費者ニーズに即した品種の導入など、付加価値の高い米・麦・大豆等の生産を推進します。



(イ) 野菜・花き・果樹

- ◇生産性向上や省力化を図るため、栽培施設や機械・設備、IoT等の先端技術の導入などを支援します。
- ◇生産と流通の一体的な推進を図るため、園芸団地や流通関連施設等の整備を支援します。
- ◇経営の安定化や地域経済の活性化を図るため、雇用労働力の確保を支援します。
- ◇地域の特性を生かした露地野菜*の生産振興を図るため、食品流通加工事業者との連携を促進します。
- ◇消費者ニーズや温暖化に対応した栽培技術の指導や新規品目・品種の導入を支援します。
- ◇果樹産地の育成に必要な優良系統の新植・改植等への取組を支援します。



おおば



にら



みつば



いちご



水耕せり



パセリ



ピーマン



ごぼう



ホオズキ



コチョウラン



ビワ



豊の七瀬柿

(ウ) 畜産

- ◇規模拡大や省力化を図るため、施設・機械整備やIoT等の先端技術の導入を支援します。
- ◇品質や生産性向上を図るため、家畜改良の基礎となる優良な家畜の導入等を支援します。
- ◇労力軽減や作業安全を図るため、ヘルパー員*の確保を支援します。
- ◇周辺の住環境と調和のとれた畜産環境整備に取り組むため、家畜排せつ物の適正な処理についての啓発や支援を行います。



乳用牛



搾乳作業



肉用牛



おおい冠地どり

② 林産物の生産振興

林業

(ア) 木材

- ◇森林経営計画等に基づいて実施する間伐、下刈り*などの森林整備を支援します。
- ◇生産性の向上や作業の効率化を図るため、高性能林業機械*の導入や林業関連施設の整備等を支援します。

(イ) 椎茸

◇生産技術の向上や作業の効率化を図るため、散水施設等の整備や生産機械の導入を支援します。



高性能林業機械による間伐作業



高性能林業機械による集積・積み込み作業



椎茸の林内ほだ場



椎茸の人工栽培施設

③ 水産物の生産振興

水産業

- ◇関あじ・関さば、イサキやイセエビ、アワビ等の稚魚等育成の場となる藻場を拡大するため、増殖場の造成を促進します。
- ◇種苗放流・中間育成*の支援や魚道*・産卵床*の整備等を促進します。
- ◇マダコの産卵場所となる産卵用たこつぼ設置を支援します。
- ◇ブランドを維持し、高品質な水産物を安定供給するために、荷さばき施設*等の流通関連施設の整備を支援します。
- ◇水産資源を守るため、漁獲体長制限*の遵守、禁漁期、禁漁区、保護区域の周知を図ります。
- ◇広域的な資源管理*に向けた他地区の漁業者や遊漁者*との漁業調整*を図ります。



関あじ・関さば



産卵たこつぼ内のマダコの様子

④ 災害に強い生産基盤の整備

共 通

- ◇地震や台風等の自然災害や地球温暖化等の気候変動に対応した生産体制や生産基盤の整備を推進します。
- ◇台風の接近時や異常気象による農林水産業への被害が想定される場合に、農林水産業者に対して、被害軽減の対応策等の情報提供を行います。
- ◇災害等による農林水産業への被害が発生した場合に、迅速な復旧及び被災農林水産業者への支援を図ります。

農 業

- ◇被災した農地・農業用施設の現地調査を速やかに実施し、早期復旧に取り組みます。
- ◇市民の安全を守るため、地震等発生時には、必要に応じ、速やかにため池管理者と連携を図り、ため池調査を行います。

(2) 安全で環境に配慮した農林水産業の振興

基本的な方向

- ◆生産から出荷において発生するさまざまなリスクや環境負荷の低減による安全で環境に配慮した農林水産業の推進

① 安全・安心な生産出荷体制の強化

農 業

- ◇生産履歴*の適切な記帳指導や栽培暦の配布などにより、環境保全の観点も含めた農薬や肥料の適正な使用・管理方法の周知を図ります。
- ◇家畜伝染病等に対する自衛防疫体制と感染拡大防止体制の強化に必要な資材の導入などを支援します。
- ◇減化学肥料や減化学合成農薬による生産を推進するため、優良品種、有機質肥料、天敵、病害虫予防に必要な資材などの利活用を促進します。
- ◇安全・安心な農産物の生産拡大を図るため、トレーサビリティ*、GAP*の導入など、農産物等認証制度への取組を支援します。

② 資源循環型農林水産業の取組推進

共 通

- ◇農林水産業から発生する廃棄物を資源として有効利用する取組を推進します。
- ◇規格外や未利用の農林水産物を、加工品や家畜用飼料等へ有効利用する取組を促進します。

農 業

- ◇ホームページやチラシなどにより、農業用廃ビニール等の適正な処理方法の周知を図ります。
- ◇家畜排せつ物の適切な処理・管理を促進するとともに、堆肥として有効利用するため、畜産農家と耕種農家*との連携を支援します。
- ◇家畜排せつ物や生ごみ・樹木剪定枝のバイオマス*としての有効利用を促進します。

林 業

- ◇木質バイオマス*の発電事業等への有効活用を促進するため、輸送コストの低減を図ります。



畜産農家の堆肥処理施設



木質バイオマスとして利用される未利用材

③ 再生可能エネルギー等の利活用推進

共 通

- ◇温泉熱や太陽光、風力等の再生可能エネルギーや水素エネルギーなどの農林水産業分野での活用を推進します。

(3) 市産農林水産物の利用・流通拡大の推進

基本的な方向

- ◆市産農林水産物の販路開拓及び地産地消の拡大
- ◆6次産業化や農商工連携による加工品開発及び販路拡大の推進
- ◆市産農林水産物等を活用した加工品のブランド化の推進

① 地産地消の推進

共 通

- ◇市報やホームページ、地産地消サポーター通信の発行等により、市産農林水産物、直販所、加工所、イベントなどの情報を発信します。
- ◇高等学校等との連携による市産農林水産物を使った新たなレシピの開発などを支援します。
- ◇市産農林水産物の利用促進を図るため、おおいたマルシェなどの各種イベントを開催します。
- ◇市産農林水産物、「にら豚」や「りゅうきゅう」などの食の魅力を発信するため、イベントの開催やホームページの公開などによる「LOVEおおいた産プロジェクト*」を推進します。
- ◇市場での市民感謝デー開催やICT*を活用した情報発信等を通じて、地元産食材をはじめとした生鮮食料品等の消費拡大を推進します。

林 業

- ◇建築費用の助成や啓発活動などにより、公共建築物や一般住宅等における地域材の利用を推進します。
- ◇森林環境譲与税を活用して、公共的建築物等について木材の利用を推進します。





大分市産材を使った施設



大分市産材を使った住宅

② 地域ブランド力の構築と強化

共通

- ◇市産農林水産物の認知度の向上と消費拡大を図るため、6次産業化や農商工連携を推進します。
- ◇関係機関や関係団体と連携し、市産農林水産物の輸出に向けた取組や商談会への参加などを推進します。
- ◇大分市ブランド(Oita Birth)等の取組により、農林水産物等加工品の市内外へのPRと販路拡大を推進します。
- ◇都市圏で開催される展示会などへの参加や観光分野と連携し、市産農林水産物及びその加工品を市外へ広くPRします。



LOVEおおいた産ポスター



商談会



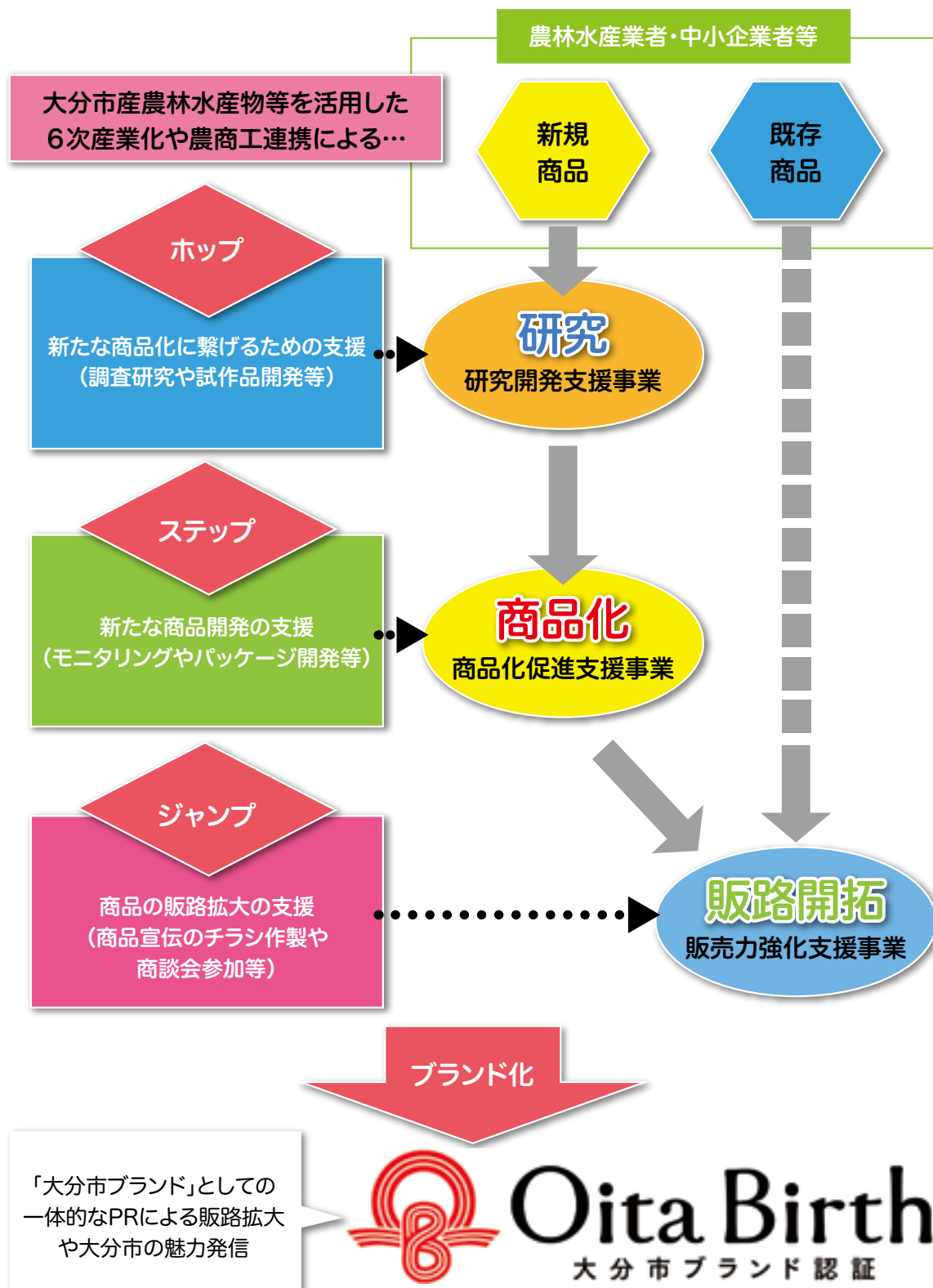
大分市ブランドフェアの開催



大分市ブランド(Oita Birth)のロゴ

ものづくり(施策の要)

農林水産物ブランド化の支援のイメージ



主な施策の実施スケジュール

体系			主な施策	重点的に取り組む時期			「攻め」 の施策	「守り」 の施策
				前期	中期	後期		
2 信頼され魅力あふれるものづくり	(1) ニーズに即した生産・供給体制の整備	① 農産物の生産振興	認定農業者等の栽培施設の新設や拡充、機械導入等に対する支援	●	●		◎	
			農産物集出荷施設など流通関連施設の整備に対する支援			●	◎	
			IoT等を装備した施設や機械の導入などスマート農業への取組に対する支援		●	●	◎	
			果樹農家の苗木や施設の導入等に対する支援				○	
			優良家畜の導入や牛舎、省力化機械などの整備に対する支援	●			◎	
		② 林産物の生産振興	市産材を利用した戸建木造住宅建築等に対する支援				◎	
			高性能林業機械の購入等に対する補助				◎	
			原木椎茸生産のためのほだ木造成(種駒購入)や施設・機材導入に対する支援				◎	
		③ 水産物の生産振興	各漁協が実施する種苗放流に対する支援				◎	
		④ 災害に強い生産基盤の整備	災害に備えた農業用ため池の整備補修	●	●	●		◎
			大雨等により被災した農地、農業用施設及び林業用施設等の復旧	●	●	●		◎
			台風等の影響による港内の波を抑えるための防波堤の改良	●				◎
	(2) 安全で環境に配慮した農林水産業の振興	① 安全・安心な生産出荷体制の強化	家畜法定伝染病及び特定疾病の発生防止に必要な資材の購入に対する支援					◎
			減化学肥料や減化学合成農薬栽培に必要な資材の利活用促進					○
		② 資源循環型農林水産業の取組推進	良質な堆肥生産による資源の有効活用のための資材購入に対する支援					○
		③ 再生可能エネルギー等の利活用推進	様々な再生可能エネルギーの農林水産業への活用の検討					◎
	(3) 市産農林水産物の利用・流通拡大の推進	① 地産地消の推進	市産農林水産物や食の魅力の発信及び中食、外食における活用推進	●			◎	
			市産材を利用した戸建木造住宅建築等に対する支援				◎	
		② 地域ブランド力の構築と強化	市産農林水産物等を活用した加工品の商品開発や販路拡大等の支援及び大分市ブランドへの認証				◎	
			学校給食での米粉パン導入支援や米粉料理教室の開催による米粉の消費拡大				○	

◎ … 大きく関係するもの

○ … 関係するもの